

八甲田山

IBP-CT 1967

Aug. 9 — Aug 20

河部

Vegetation

海抜が 900m 以上は 77 林
維の竹などは 77 林がある。

900-1200m

ブナ (974 カニ) 推定帯
(P. 711-2)

1200-1400m

P. 711-2 マツ 西高山針葉樹帯
ダケカンバ かみきりやぶり ケシマツの群生

1400m 以上

ハイマツ 巨木といふ 高山植物群落

カヤの森
シロモミの森

高層湿原に近いものが 下ヶ十シ、上ヶ十シ。
ヤチ温泉 — マツ林の中の温泉
北田池
高田池

八甲田では 植物帯は 大まかに 5 区に分けられ、
各帯内では 樹木の 植物群落 が入り
乱れていす — 多雲と関係がある。

雪が不足したりして 420 ヶ年群落やその他の
草中群落が出来、P. 711-2 マツ林が出来た。
多雲が 植物群落に 大きな影響を及ぼす。
雪日本型の 植物群落。

鳥の放牧を森掛地帯にて行うため、ブナ林も植生の変わったヤチがある。
 ヤチやヤチをとりためるためにヤチの森がなくなっているが、ヤチ温泉附近

ブナ林の上は天然の状態で保存されている。

ブナ林
 車輻へ行くヤチの中

アヤトマツ井

supplementary areaの調査は、既に済んでいる調査
 メンバーを確保する必要がある

報告書 12月31日までに加藤宛

① 山頂附近 10月-12月 10日 8時 捕 100羽
 ② アヤトマツ井 11月 14日 22

③ alpine meadow

③ ④ 焼山 ~~14-16~~ 14-16 カスミ

② ⑤ 谷地温泉 ~~14-16~~ 12-14
 高田野

④ 城野 16日-18日
 萱野

12 昼頃 → 谷地
 高田

4時 吹上り

13 朝 → 谷地、高田
 正午 吹上り

14 朝 → 谷地、高田
 正午 吹上り → 焼山
 4-5時 吹上り

15 朝 → 焼山、葛沼
 正午 吹上り

16 朝 → 焼山
 正午 吹上り → 城野
 4-5時 吹上り

12 正午 吹上り → 谷地、高田
 13 朝 → 谷地、高田
 正午 吹上り
 14 朝 → 谷地、高田、高田
 正午 吹上り → 萱野
 15 朝 → 萱野
 正午 吹上り
 16 朝 → 萱野 (田代)
 正午 吹上り
 17 正午 吹上り → 焼山
 朝 → 焼山、葛沼
 18 正午 吹上り
 朝 → 焼山
 正午 吹上り

萱野 KYN

丸瀬沢 HBZ

寒水沢 KOSZ

大淵下湯 SKY

赤水沢 AKZ

高田野TKY

谷地温泉 YCH

葛温泉 TUT

姥山 YKY

大岳山頂 ODK-top

仙人岩 SNT

雪田(US) U-DN

上毛笹平 a-KNT

下 " l-KNT

大岳山頂 = ODK-an

草席 - gl.

森林 - fl.

湿原 - hm

Aug 10 暑

飯ヶ岳 → 大岳

① 1000m 附近 - 1050

アモイトマツ 出現 平毛草の 産地例 184

草類 4トツツ 20%

上
アモイトマツ
小ツケカシバ
ツカマツ

杉林 4シツツツ 樹葉多 割合: 100

② 1100m 附近

上アモイトマツ 優占

20%

小ツケカシバ, カエデ

4シツツツ

③ 1200

ハイツ帯

20%

ツカマツ

ハン

ササ

④ 仙人岩

ササ

20%

⑤ 森林限界 PIF 1500m

アモイトマツ

20%

ハイツ

Aug 11 小雨

1000m

エクス2匹 合早各1
アカズ2匹 合1

1100m

アカズ2匹 早2
エクス2匹 合1

1200

山人 1匹 } 0
新井 1匹 }

1000~1100m の間 1.04 > 20Y
1100~1200 の間 1.04 > 20Y
1200m 以上 1.04 > 30Y
以上 1.04 > 30Y

) set

Aug 12

頂上 0

山人 1匹

エクス 2匹) 早2匹
アカ 合1

新井 1匹 1500m

以上 早1 早2匹

~~山人 1匹~~
~~アカ~~

1200

エクス 1) 1.04 > 20
アカ 1

1100-1200 1.04 > 20
アカ 2 (早) ✓

1000-1100 1.04 > 20

1100 以上 エクス 2匹 合1 ✓
1000m 以上

エクス 3 合1
アカ 早1
エクス 3

Aug 12 小雨

高田野地周围

♀ 30
♂ 30) set

谷地沼原

ナナ林縁

♀ 50
♂ 70) set

Aug 13 小雨

高田野地

♀ 1
♂ 1 ♀ 1 幼鳥 5
(PA)

1.4.22

PP 1 ♀ 1

谷地沼原

♀ 1 PP 1 ♀ 3

♂ 1 ♀ 1

1.4.22

PP 1 ♀ 4

♂ 1 ♀ 2

PP 1 ♀ 1

Aug 14 雨

高田

427

PP 61 91

EX 91

10422

PP 91

EX 91

谷地 湯原

427

PP 62 91

EX 62

10422

PP 91

EX 91

回収後

仙人橋 踏地

ツク川支流 踏地

427 50

10422 50

set

ツク川林下 踏地

踏地 湯原 ツク川
に 踏地 踏地
1032

Aug 15

仙人橋

427

PP 68 95

10422

PP 61

EX 62

谷地 (1747+) ✓
PP 61 91 95

427

PP 91

踏地 湯原 踏地

EX 62

Aug 16

1/3 (1744+)
P161

酸牛湯 (境満中)

EX 石1
P161 石2 石3 石4
石5 石6

EX 石1
P161 石3 石4

104-2
P161 石2 石3

EX 石1 石2

回収は 7. P161 石4

最善北沢沿いに石1 50

城倉 7. P161 石1 104-2 80%

下ササ密地

Aug 17

北沢

EX 石1 石3

城倉

104-2

EX 石5

P161 石1

北沢 1200m 付近に 石1 50 (P161 石1 石2)

Aug 18

寛心沢

㊦㊧

PP 161 ㊦㊧

城ヶ原

164㊧

PP ㊦㊧

EX 162

大塚 1200m ㊦㊧

PP 162

EX 161

㊦㊧ ㊦㊧

井原 (民地落(穴))

161 ㊦㊧

大岳

1000m - 1100
 EX 沢 5
 PP 沢 2
 沢 3ヶ所 1

1100 - 1200
 EX 4
 PP 2
 EX 沢 2

1200 -
 EX A 3
 PP 2
 PP 2
 沢 1
 EX 1
 PP 1

1500m
 沢 1

高田野地

EX 4
 PP 10

1/2 地沼

EX 6
 PP ~~28~~ ²⁸ + 4 = 32
 沢 1

仙人橋

EX 4
 PP 22

沼子湯

EX 3
 PP 1

寛北沢

EX 0
 PP 7

城倉

EX 7
 PP 6

釜野

PP 1

18th PM 3:00 meeting

社に2枚摺手の一括保管場所を以て
北大で責任をもち、まとめておく

調査報告書 12月31日 - 1月15日

→ 調査団体数表を1枚
場所別

12月20日頃 meeting

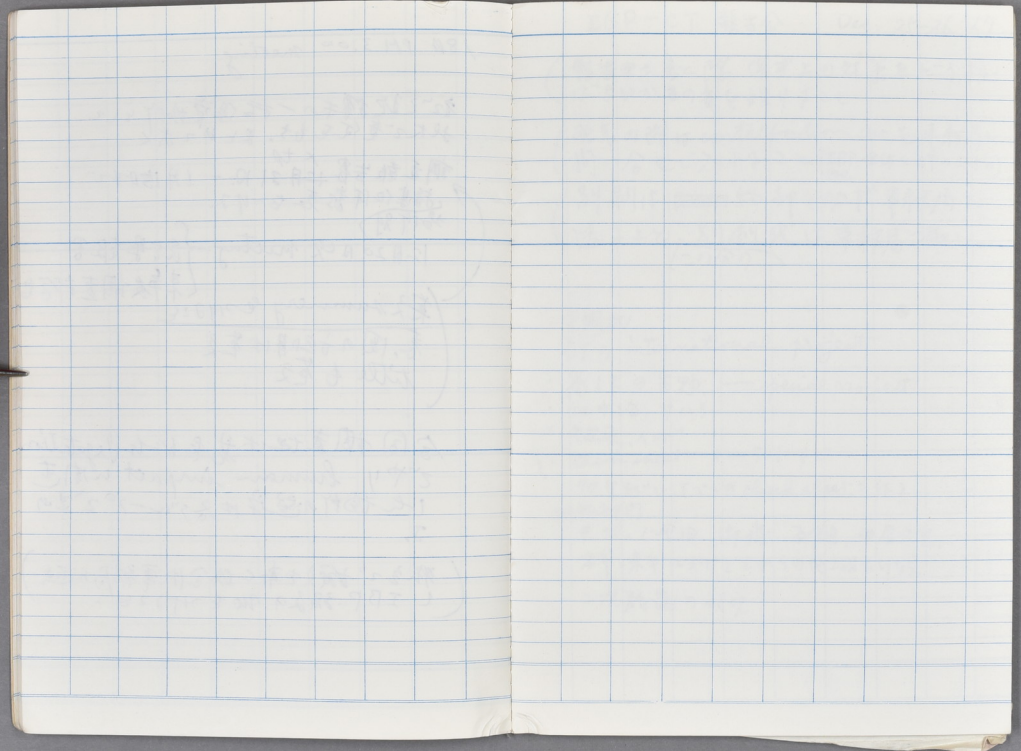
}	調査報告
	東年次調査打合せ

英文 summary を1枚

表、図のタイトルは英文
title も英文

合同調査団体表を以下 Vegetation
でも human impact の関連
した場所の選定は各々 → 2枚
子。

(独立して英文を報告の場合事務局に送る)
IIP 論文の No を1枚



(報告書を書く際、澤ゴエの対策をどうするか
は「よいか」の案を設けよこと

(発表の際は contribution no. を事務局に
同一合せに入すこと (IBP 全体と CT の両方の
no.)

(別刷りは ~~50部~~ 50部を必ず事務局に
送よこと 別刷り紙は事務局携い。
この分の

吉岡の

CT の international project

- 島しょの生物。 — special project.
- 地中海、サハラ。
- 中東、インド
- check sheet 1-701 まで

70年ねこのための check sheet を作る。

植物部門

天北、八甲田、伊藤、石巻、屋久島。

本年と来年にかけてこれらの地域を行程。

二次群落の研究

補充

4077. 知床. 尾山. 奥盤様

尾瀬. 富士山. 白山. 大台原. 鳥取砂丘.
道半瀬. 唐久島. 丹波. 大島. 氷山. 宮島

秋田 天城

主 大雪. 八甲田. 中部山岳. 霧島. 石炭
木田

1968

来年度の研究方針.

中部山岳. 伊勢

① 主調査地は全員でやる.

奥盤様. 唐久島

② 補充調査地は各地区でせよ.
希望者と共に

human impact
の指標を入れる

③ island ecosystem の問題

一般調査地の検討.

急ぎ要するものは2月一杯に報告

主調査地:

植物の調査地と同じかよりの

本常伊勢 3000m

8合目までバスかいは1700m

高山側 湯川 湯原に森林署の小屋がある.

7ヶ所は少く. 針葉樹が多い.

主調査地に関する文献表(製作) 補充 カード作成のこと.

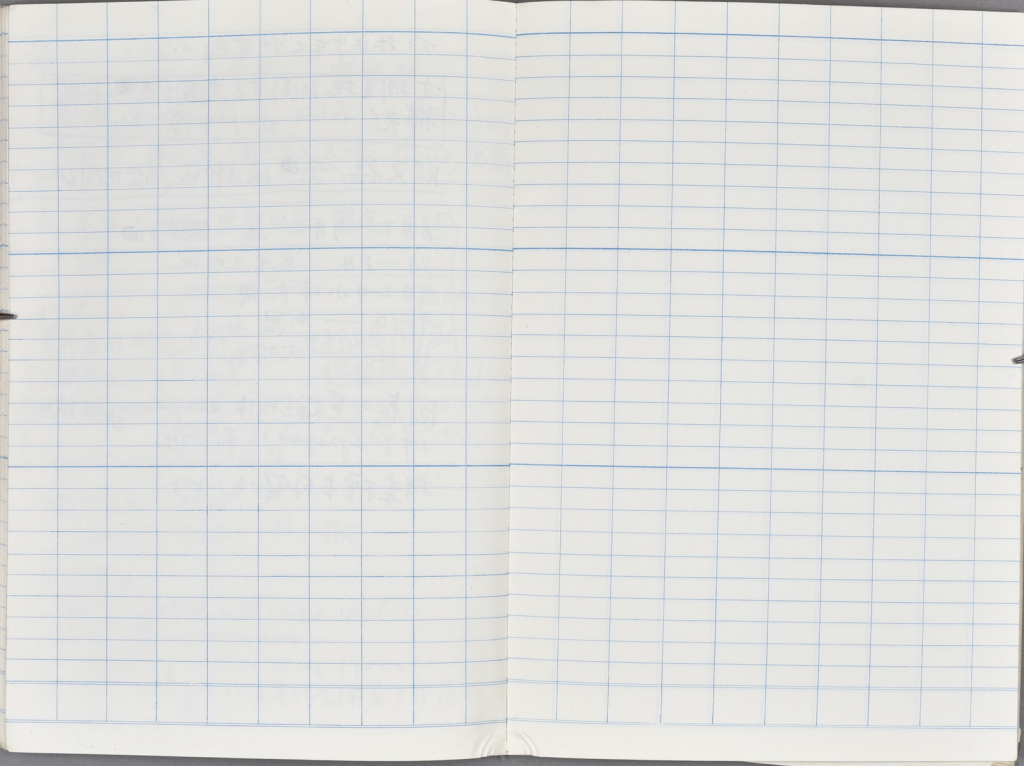
昭文社 10.1 伊勢 (山岳地回遊)

- 6月末 - 7月上旬 鳥 - 伊勢 1回
- 7月 - 8月 昆虫. 3回
- 8月上旬 小哺乳類
- 9-10 鳥 2回
- 11-12 大哺乳類

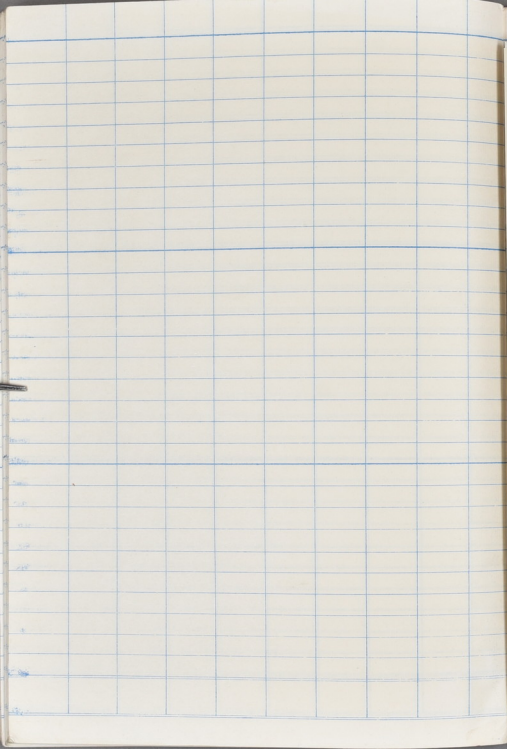
図表の英文説明は summary の後に

7ヶ所 synopsis は別紙に

採集標本目録を入れる.







Handwritten text on a piece of paper pasted onto the right page of a notebook. The text is written in a cursive script and is mostly illegible due to fading and blurring. The visible words and phrases include:

1900
1901
1902
1903
1904
1905
1906
1907
1908
1909
1910
1911
1912
1913
1914
1915
1916
1917
1918
1919
1920
1921
1922
1923
1924
1925
1926
1927
1928
1929
1930
1931
1932
1933
1934
1935
1936
1937
1938
1939
1940
1941
1942
1943
1944
1945
1946
1947
1948
1949
1950
1951
1952
1953
1954
1955
1956
1957
1958
1959
1960
1961
1962
1963
1964
1965
1966
1967
1968
1969
1970
1971
1972
1973
1974
1975
1976
1977
1978
1979
1980
1981
1982
1983
1984
1985
1986
1987
1988
1989
1990
1991
1992
1993
1994
1995
1996
1997
1998
1999
2000

16/1/74

入林許可證

別紙入林心得事項を遵守することを条件に
下記のとおり入林を認めたことを証する

入林場所 **楠** **北新** **阿部** **寺** **北** **馬** **黄瀬** **山** **沢** **山** **同有林内**
 入林期間 1974年2月20日から
 1974年2月21日まで
 目的 **国際生物事業計画(IBP)陸上生態系生産力(PT)**
陸上生態系生産力(CT)部門に付した資料の採集
月定保護理論研究会の調査研究のため
 本申請書 277/号

1974年2月 日
 仙臺山下地学部生物教室
 日本国際生物事業計画陸上生態系生産力部門
 八甲山調査員(代) 周夜
 東洋理学教授
 主任 **カネ藤 興雄**

三浦 不 田 領 五
 天 啓 堂
 三 浦 不 田 領 五

入林心得

- 1 入林者は常に入林許可證を携帯し、本林
 以上の請求があつた場合に、これを提示す
 ること
- 2 焼畑の敷地をしようとする場合には、本
 林自身の承認を受けること
- 3 工事等のため支障木の伐採を必要とする
 場合には、本林部長の指示を受けること
- 4 本林内の樹木および支柱その他工作物
 を損傷しないこと
- 5 山火事が発生しないよう十分な注意をす
 ること
- 6 次の場合には、すみやかに担当区主任に
 知らせること
 (1) 許可を交けて入林するとき
 入林前に本林者の住所、氏名
 (2) 入林目的が終了したとき
 (入林許可證添付のこと)
 (3) 入林期間の延長を必要とするとき

北大

昭和二十八年七月二十八日

仙台市片平町東北大学理学部印生生物学教室
日本国際生物学事業計画陸上群衆の生産力委員
八甲田山調査団(代表者)団長

東北大学理学部教授 加藤 陸 穂 穂



三 不 在 取

即有検討の人体について

7月14日つきJIBP-PT(CT)一底被^レ甲購^レつたことに

ついては、下記のとおり許可する

配

青森七北郡十和田市^{直轄}須田山^{直轄}物産山^{直轄}谷地^{直轄}善^{直轄}笠^{直轄}龍^{直轄}山^{直轄}嶺^{直轄}山^{直轄}内

- 1 入 体 物 所
月限^二年^一 8月10日から
至^二昭和^二八年^一 8月30日まで
- 2 用 途
国^際生^物学^事業^計画^(JIBP)陸^上群^衆和^生産^力(PT)
陸^上群^衆の^保護^(CT)部^門に^おけ^る動^物相^子の^保護^に
自^然保^護論^議の^確立^にあ^らむ^の調^査研^究に^あら^む
- 3 目 的
東北大学理学部教授 加藤 陸 穂 穂 外 16名
- 4 入 体 者 氏 名
- 5 入 体 心 得 は 別 紙 の と お り で あ る

